

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称  
推奨用途及び使用上の制限  
供給者の会社名称、住所及び電話番号

製品名称：工業用炭酸マグネシウム（銘柄：重質）  
推奨用途：マグネシウム原料、窯業用、セラミック材料  
供給者の会社名称：協和化学工業株式会社  
住所：〒762-0012 香川県坂出市林田町4035番地  
担当部署：坂出品質保証課  
電話番号：0877-47-4704  
FAX番号：0877-47-4724  
電話番号：0877-47-4704

緊急連絡先

### 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	:分類できない
可燃性ガス	:区分に該当しない
エアゾール	:区分に該当しない
酸化性ガス	:区分に該当しない
高压ガス	:区分に該当しない
引火性液体	:区分に該当しない
可燃性固体	:区分に該当しない
自己反応性化学品	:分類できない
自然発火性液体	:区分に該当しない
自然発火性固体	:分類できない
自己発熱性化学品	:分類できない
水反応可燃性化学品	:分類できない
酸化性液体	:区分に該当しない
酸化性固体	:区分に該当しない
有機過酸化物	:分類できない
金属腐食性物質	:分類できない
鈍性化爆発物	:区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	:分類できない
急性毒性(経皮)	:分類できない
急性毒性(吸入)	:分類できない
皮膚腐食性/刺激性	:分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:分類できない
呼吸感作性	:分類できない
皮膚感作性	:分類できない
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない
生殖毒性	:分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:分類できない
誤えん有害性	:分類できない

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性) :分類できない  
 水生環境有害性 長期(慢性) :分類できない  
 オゾン層への有害性 :分類できない

GHSラベル要素

絵表示 :なし  
 注意喚起語 :なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：  
 化学物質

成分名	CAS No.	含有量 (%)	官報公示 整理番号 (化審法・安衛法)
炭酸マグネシウム	546-93-0 + 1309-42-8	100	1-155

注記：これらの値は、製品規格値ではない  
 危険有害成分  
 毒物及び劇物取締法，安衛法「表示、通知すべき有害物」，化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合 :空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で  
 休息させること  
 気分が悪いときは医師に連絡すること

皮膚(又は髪)に付着した場合 :皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと  
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること

眼に入った場合 :水で数分間注意深く洗うこと  
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は  
 外すこと、その後も洗浄を続けること  
 眼をこすらせてはならない  
 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること

飲み込んだ場合 :口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 意識のある場合はコップ1-2杯の水を飲ませる。  
 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(吸入もしくは飲み込んだ場合の症状) :咳、吐き気/嘔吐  
 (皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状) :継続的に接触した場合、皮膚が乾燥しひび割れが  
 生じるおそれ、眼刺激のおそれ

応急措置をする者の保護

医師に対する特別な注意事項 :救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する

医師に対する特別な注意事項に関する情報なし

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

適切な消火剤:

:周辺設備に適した消火剤を使用する

この製品自体は燃焼しない

使ってはならない消火剤:データなし

:データなし

特有の危険有害性

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

:特になし

周辺の状況に応じた対応を行う

消火活動を行う者の特別な保護具

:消火作業に適切な保護具を着用すること

及び予防措置

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

:漏出時の処理を行う際には、眼や皮膚との過度の接触及び吸入を避けるため、適切な保護具を着用することが望ましい

回収を行う場合は風上から作業すること

環境に対する注意事項

:河川、下水道、土壌等に排出、拡散されないように注意すること

封じ込め及び浄化の方法及び機材

:掃き集めて、容器に回収する

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策

:(取扱者のばく露防止) 粉じんの吸入を避けること  
(注意事項) 皮膚に触れないようにする  
眼に入らないようにする

安全取扱注意事項

:屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること  
保護眼鏡/保護面を着用すること  
指定された個人用保護具を使用すること

接触回避

:強酸類との接触を避けること

衛生対策

:眼、皮膚、衣類につけないこと  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと  
取扱い後はよく手を洗う

保管

:安全な保管条件  
換気の良い場所で保管すること  
容器を密閉しておくこと  
涼しいところに置き、日光から遮断すること  
屋内、床上に保管する

(避けるべき保管条件)

高温多湿を避けること

吸着性があるので揮発性または臭気のするものに近づけないこと

安全な容器包装材料

:データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理指標	:管理濃度:データなし
許容濃度	:日本産衛学会(2021年度版) 第3種粉塵 吸入性粉塵:2mg/m <sup>3</sup> 総粉塵:8mg/m <sup>3</sup> ACGIH IPM (吸引性粉じん)-TLVs: < 10 mg/m <sup>3</sup> ACGIH RPM (吸入性粉じん)-TLVs: < 3 mg/m <sup>3</sup>
設備対策	:適切な換気のある場所で取扱う 洗眼設備を設ける 手洗い/洗顔設備を設ける
保護具	
呼吸用保護具	:呼吸用保護具を着用すること
手の保護具	:保護手袋を着用する
眼の保護具	:側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する
皮膚及び身体の保護具	:保護衣を着用する

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態	:粉末
色	:白色
臭い	:データなし
臭いの閾値	:データなし
融点/凝固点	:データなし
沸点又は初留点	:3600°C(MgO)
沸点範囲	:データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)	:燃焼しない
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	:データなし
引火点	:燃焼しない
自然発火点	:データなし
分解温度	:約250°C(分解開始点)
pH	:データなし
動粘性率	:適用外
溶解度	:水に対する溶解度: 微溶、鉱酸に溶ける 溶媒に対する溶解度: データなし
n-オクタノール/水分配係数	:データなし
蒸気圧	:データなし
蒸発速度	:データなし
密度及び/又は相対密度	:2.2
相対ガス密度(空気=1)	:データなし
粒子特性	:データなし

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の保管条件／取扱い条件において安定である
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 高温・多湿を避けること
混触危険物質	: 強酸類
危険有害な分解生成物	: データなし

#### 11. 有害性情報

##### 毒性学的影響に関する情報

急性毒性(経口、腹腔内)	: 情報なし
急性毒性(経皮)	: 情報なし
急性毒性(吸入: 気体)	: GHSの定義における固体であるため区分に該当しない
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 情報なし
急性毒性 (吸入: 粉じんおよびミスト)	: 情報なし
皮膚腐食性／刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	: 情報なし
呼吸器感作性／皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 情報なし
誤えん有害性	: 情報なし
その他	: 情報なし

#### 12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
他の有害影響	: オゾン層への有害性: データなし

#### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法	: 廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと
汚染容器及び包装	: 容器は関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類	:国連番号またはID番号:該当しない 正式輸送名:該当しない 分類または区分:該当しない 容器等級:該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程)	:該当しない
IATA 航空危険物規則書	:該当しない
環境有害性	:MARPOL条約附属書III — 個品有害物質による汚染防止 海洋汚染物質 (該当/非該当):非該当
バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード	:該当しない
国内規制がある場合の規制情報	:船舶安全法:該当しない 航空法:該当しない

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法	:非該当
労働安全衛生法 粉じん障害防止規則(令19号)	:非該当
化学物質管理促進(PRTR)法	:非該当
消防法	:非該当
化審法	:非該当
じん肺法	:非該当
輸出貿易管理令	:輸出貿易管理令別表第一の16項
水質汚濁防止法	:非該当

16. その他の情報

各国登録情報	
TSCA登録	:有り
EC番号	:208-915-9+215-170-3
DSL登録	:有り

#### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (7th revised edition, 2017), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN  
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)  
IATA 航空危険物規則書 第61版 (2020年)  
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (Table 3 ECNO6182012)  
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
JIS Z 7252 : 2019  
JIS Z 7253 : 2019  
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
GESTIS-Stoffdatenbank  
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

#### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。  
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和元年度(2019年度))です。